

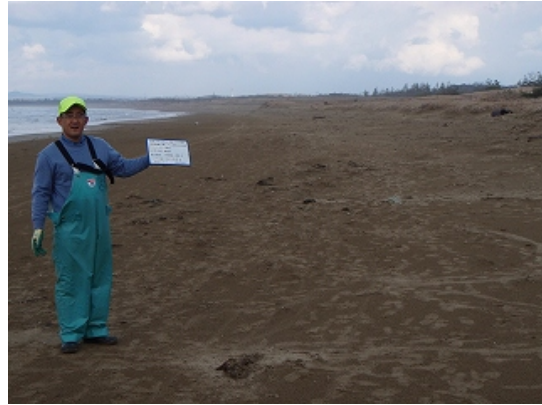
(5) 回収前後の状況

回収前後の状況写真は、図 18 に示す。

回収前

回収後

○St.1 (柴垣海岸)



○St.2 (柴垣海岸)



○St.3 (柴垣海岸)



図 18 (1) 回収前後の状況写真

回収前

回収後

○St.4 (一ノ宮海岸)



○St.5 (一ノ宮海岸)



図 18 (2) 回収前後の状況写真

4.2.2 調査地点ごとの状況

調査地点ごとに、計画（人数、日数、テーマ）、結果、課題についてとりまとめた。

(1) St. 1（奥行き 100m×海岸長 1,000m）

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人数と日数：作業員 15 名×1 日 ・テーマ：貴重な昆虫の生息地であり、車両の乗り入れが禁止されている。人力・リヤカーによる作業効率を検討する。
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員 15 名 0.5 日（のべ 7.5 人日）で対応した。 ・まず、St.2 との境界から順次北側へ移動しながら回収した。作業は順調で、午前中に南端の河川まで終了した。河川を越えられないので、ここまでとした。調査対象範囲の約 2/3 を終了した。図 22 の A 地域を残す。 ・建設作業員の作業効率は大変良く、また、リヤカーによるゴミの運搬は大変効率的であった。 ・当初 1 日の予定であったが、半日で終了し、作業効率は良かった。チェーンソーで切断し、手で運べる流木は処理済み。ただし、運搬できない大きな流木などは未着手である。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・北側の河川を越える方策、リヤカーでの運搬を検討する。 ・運搬できない大きな流木などの対応を検討する。



図 19 St. 1 の状況写真

(2) St. 2 (奥行き 30m × 海岸長 1,000m)

計画	<ul style="list-style-type: none">・人数と日数：作業員 50 名 × 0.5 日・テーマ：海岸線が短い海岸での人力による作業効率を検討する。
結果	<ul style="list-style-type: none">・作業員 15 名 0.5 日（のべ 7.5 人日）で対応した。・St.1 の作業は予定より早く終了したために、1 日早めて回収を実施した。・午後 3 時すぎに強風になったために、砂浜部の一部（長手島付近）をラフに回収して終了。チェーンソーで切断し、手でトラックの荷台につめる流木は処理済み。
課題	<ul style="list-style-type: none">・ビーチクリーナによる効率化を検討する。

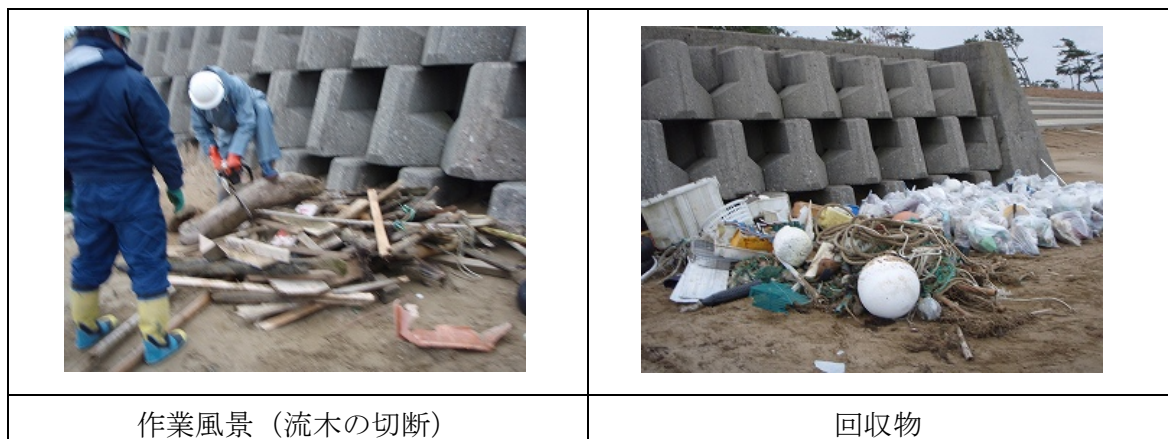


図 20 St. 2 の状況写真

(3) St. 3 (奥行き 30m × 海岸長 800m)

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人数と日数：作業員 50 名 × 0.5 日 ・テーマ：海岸線が短い海岸での人力による作業効率を検討する。
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員 21 名 0.5 日 (のべ 10.5 人日) で対応した。 ・ここも St.2 と同様に砂浜部がせまいが、ゴミの全体量は多かった。前回やり残した南側 (図 22 の B 地域) から実施した。 ・学生と漁業関係者で実施したが、寒かったために、漁業関係者が先行する状況であった。 ・コドラート周辺の優先作業範囲まで終了した。 ・チェーンソーで切断し、手でトラックの荷台につめる流木は処理済み。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーナによる効率化を検討する。



図 21 St. 3 の状況写真